

感・動

感じて 動く

平岡南中第2学年
学年通信
第__号
2025. __. __

夏休み終盤・・・今年は戦後80年 平和について考える

「これからの歴史を
つくるのは私たち」

夏休みがどんどんとすぎ、もう終盤ですね。宿題はもう終わりましたか？毎日の「こつこつ」しか宿題を解決する手段はありません。焦らず「今日」を「今」を大切に過ごしていきましょう。

毎年8月は日本にとって「平和」を考えるための特に大切な時間です。日本は近代になって大きな戦争をしてきました。日清戦争、日露戦争、第1次世界大戦、そしてあの第2次世界大戦と。そこには「戦争」という名のもとに、多くの命を「人の手」で失った悲しい歴史があります。そして現在私たちは、その人達が残してくれた「平和な日本」で暮らしています。（一方世界では、まだあちこちで紛争がおこっています・・・）特に今年は「戦後80年」の年になります。そしてこの8月は第2次世界大戦の末期で、多くのできごとがあった月です。そこで当時の「日本」には、どのような歴史があったのか、どんな犠牲があったのか？なぜこの「悲しみ」が起ってしまったのか？私たちは今後の「日本」のために、「世界」のために何ができるのか考えていきましょう。

この夏「平和」「戦争」について調べ、考えたことをまとめる課題がありました。そこから始めていけるといいと思います。そこには現在、世界で起っている紛争の原因や解決の糸口が隠れているかもしれません。核兵器の問題、ロシアとウクライナの問題、ユダヤ、イスラエルの問題などなど。ここから世界に目を向けて考えていきましょう。



この雲の下では何万人の人が
苦しんだのか
そして
いまだに苦しんでいるのか

いくつかの学校、先輩方は「平和学習」のまとめを「長崎」「広島」「鹿児島」「沖縄」を学習の場として、修学旅行や校外学習の中でおこなってきました。「長崎」「広島」では原子爆弾の威力と被害の大きさから、「鹿児島」では終戦間近に日本軍がおこなった「特攻隊」の犠牲と悲しみから、「沖縄」では日本で唯一、アメリカ軍の上陸による地上戦がありその中で起こった悲しいできごとから、それぞれ「命」の大切さを中心に、繰り返してはいけいない「戦争」のことを、守らなければならない「平和」のことを学習してきました。君たちは別の形で学習をしますが、幸運なことに今年は「戦後80年」により、例年より多くの情報がメディアから流されています。これを大切に使い、より詳しく知り、考え思いを深められるようにできればいいと思います。

あるテレビ番組でこんなセリフがありました。
「今年は戦後80年ですが、これが決して
戦前何年にならないようにしたいですね」

Fuzzyのつぶやき

平和も人権も みんなが努力してつかみ取るものです。
人まかせにして、いつのまにか侵されしまうことのないよう・・・

映画『永遠の0』みましたか？

特攻隊員の「家族のために生き残りたい」という思いと「国のために命を！」という時代の流れと、先に死んでしまった仲間への罪悪感との葛藤・・・映画の後半「生き残った者がしなければいけないことは、その死を無駄にしないことだ。物語を続けることだ。」という台詞があります。私たちは「生き残った人の子孫」として大切に毎日の物語を続けていますか・・・？



「にんげんをかえせ」
峠 三吉
ちちをかえせ
ははをかえせ
としりをかえせ
こどもをかえせ

わたしをかえせ
わたしにつながる
にんげんをかえせ

にんげんの
にんげんのよのあるかぎり
くずれぬへいわを
へいわをかえせ

峠三吉「原爆詩集」より